

# 横浜SSJニュース

第4号

2008年12月22日発行

発行：横浜SSJ  
(特定非営利活動法人 横浜市精神障がい者就労支援事業会)  
〒240-0023 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町53  
TEL 045-711-8823 FAX 045-710-8481  
発行責任者：理事長 菊地 綾子  
編集：横浜SSJニュース編集委員会  
印刷：ワークショップメンバーズ

よこはまの

## 就労支援関連の動き

### 横浜市発達障害者就労支援モデル

#### 他障がい支援のためにも職員の更なる資質向上を！

2006年、厚労省により首都圏などにあるニートの就職・自立支援施設4か所を選び、施設を利用したことがある若者を調査したところ、23.2%に、発達障がいまたはその疑いがあることがわかったとのことです。(2006・6読売)

発達障がいとは生まれながらに脳、神経系等に生ずる機能障がいです。一般的には自閉症や注意欠陥多動性障がい、アスペルガーなどとして知られております。コミュニケーションが苦手な方が多く大半の方には知的障がいがありません。そのため社会では誤解の対象となりやすく学校や会社に適応できなくなるケースがあります。幼児期から発達障がい児・者の特別支援・教育等を受けてこられた方は何らかの福祉サービスとのつながりを持つことができます。しかしながら、青年期を向かえ社会的な不適応を感じ始めた方は、その障がい特性からその問題が顕在化しない場合があるとのこと。

横浜市では平成17年10月に検討委員会を設置し、発達障がい者の現状・課題についての議論をさせていただきました。そうした中、発達障害者支援センターを中心に「横浜市発達障害者支援開発事業」が平成20年10月から平成22年3月まで実施されております。先日その一環である発達障がい者のニーズやサービスを模索することを目的としたモデル事業の募集がありました。

去る11月20日にその説明会に行きましたところ、定員300名のホールは約8割の事業者の方々で埋め尽くされておりました。児童、知的、ヘルパー事業者等さまざまな福祉分野の参加があり、障がいの枠を超えたその興味の高さをうかがう事ができました。

説明会では、潜在的な発達障がい児・者の発掘が困難なこと。療育・教育・医療・福祉・雇用といったライフステージにあわせた連続性のある支援の必要性や課題の説明がありました。その中で、青年期の発達障がい者が「顕在化している精神症状などに対する、対症療法に終わってしまい根本的な議論がされていない」との報告がありました。すなわち、その障がい特性から精神障がい者として取り扱われ、

発達障がい者としての根本的な支援を受けていないということです。

現在、横浜SSJでは援助付雇用で約70名の精神障がい者との協働をしております。またジョブアシスト横浜、ワークショップメンバーズでは68名の登録者に対する支援を行なっています。こうした現状を考えた場合、今後横浜SSJに「精神障がい者」と診断された「発達障がい者」が、従業員或いはメンバーとして登録される可能性は否定できません。

今回のモデル事業を考えると、知的障がいを伴わないという発達障がい者の特性は精神障がいに通じるものであります。また、コミュニケーション能力等の訓練はジョブアシスト横浜で既に行なっています。さらに様々なハード面（各事業所・関連会社との関係等）を持っている横浜SSJでは職業訓練や職場実習も可能です。それらのみを考えるとモデル事業への取り組みはできたかもしれません。しかしながら、今回は事業への応募は見送りました。発達障がい者を支援する職員の知識が追いついていないことが理由の一つです。精神障がい者への支援についてのノウハウは持ち合わせておりますが、他の障がいについての勉強不足は否定できませんでした。

3 障害一元化を謳った自立支援法が施行されてからまもなく2年が経とうとしております。今後、ますます障がい枠を超えた利用者や相談者が増えるかもしれません。そういった意味でも精神のみならず他の障がいへの支援技術の強化、更なる職員の資質向上が求められることを実感いたしました。

多機能型事業所 就労支援員 井上 和

## 2008よこはま障害者合同面接会開催

～ノーマライゼーション～雇用のバリアフリーをめざして～

10月2日（木）13時より、横浜文化体育館にてハローワーク横浜・鶴見・港北主催により、障害者合同面接会が開催されました。

参加企業157社、264件の求人があり、12時開場前に既に多くの仕事を求める方々が真剣な面持ちで並んでおり圧巻でした。この日の参加者は500名以上ということでした。



応募歓迎求人を部位別にみると、肢体障がい者が230件、車椅子障がい者が61件、内部障がい者が246件、視覚障がい者51件、聴覚障がい者88件、知的障がい者66件、精神障がい者93件ということでした。

精神障がい者応募歓迎求人企業は、57社93件となっておりますが、職種についてはSEやシステム・エンジニアといった事務系の求人が目立つ中、ドライバーや店舗スタッフ、デイサービス介護職員と多岐にわたる求人がありました。誰もが知っている有名な企業や特例子会社の募集もありました。勤務形態については、今回は9:00～17:00、週に5日の勤務を要するフルタイムの募集が多い傾向があったようです。

実際に参加をしてみて、こんなに多くの障がいのある人が真摯に仕事を求めているんだということに改めて実感することができました。また、企業の方々と実際に話をしてみると、障がいを理解しようとしてくださっているなということが感じられました。

今回4社の面接を受けたTさんは「合同面接会は初めてだったので、とても緊張しました。4社とも不合格だったのは少しショックでしたが、とても良い経験になったと思います。これからもこの経験を活かして就労に向けて頑張ろうと思います。」と話していました。次回は2009年2月に開催されるとのことです。

多機能型事業所 松本和世

あなたの

## 「働いていて感じる小さな楽しみ」

を教えてください！

前回の編集会議にて、従業員の体験談をいつもと形を変えてみようと話あいました。

横浜SSJ 5事業所で働く70名もの方々はきっとそれぞれ働き続けるために、何か工夫をしたり、楽しみをもってがんばっているのだらうと思い、アンケート調査を行ってみました。

皆さんいろいろな楽しみを持ち、喜びや充実感、時には悩みも感じながら日々がんばっているのだなと思います。

・釣りが好きなんです、最近してないので休みの日にまた釣りをしたい

・休みにになると喫茶店に行くこと

・仕事が終わったら、温水シャワーを浴びることが出来る

・音楽をじっくりと聴く

・たまに夜、食事のときに飲むビールが楽しみです

・自然とふれあえて季節を感じられる

・野毛不動でごまをたいて、病気が治るようにおがむ

・仕事が終わって帰るときの充実感がある

・野球場で売子からビールを買い飲みながら野球をみることです

・週1回ビールを飲む

・睡眠薬が減っても眠れる嬉しさ

・斎場で働いていることは安心。  
一般就労に行くと体や精神面が心配だ

アンケートにご協力いただいた皆さんありがとうございました。これからもいろいろな楽しみ、ストレス解消法などご紹介できたらと思っています。

北部事業所、久保山事業所駐車場、  
東俣野中央公園

## 従業員募集を行ないました

去る10月に、横浜SSJ 3箇所の事業所で従業員の募集がありました。北部事業所に2名、久保山事業所駐車場に2名、東俣野中央公園に1名、合計5名の方が従業員として現在元気に働かれています。久保山事業所 副主任職員、新人従業員にお話を伺いました。



久保山事業所では、平成19年4月から横浜市より目的外使用許可を受け久保山斎場駐車場の管理業務を行ってきました。当初より、久保山事業所に所属している従業員が、斎場内の勤務と兼任する形で駐車場業務に携わってきましたが、今年8月、駐車場の勤務体制が整ってきたことなどを踏まえ、初めて地域活動支援センター等利用者に駐車場従業員募集の案内をさせていただきました。

業務時間が夕方から夜間であること、また、接客業務が中心であることから、どの程度の反響があるか不安がありました。説明会には20名以上の方の参加がありました。その後、実習と面接の結果採用となった2名の方が10月より勤務されています。

今後も、従業員の方々が中心となって活躍できる職場となるよう、職員、従業員ともに頑張っていきたいと思います。

久保山事業所 副主任 川井 悟

私は、十月から久保山駐車場で従業員として働き始めています。八月に駐車場従業員の募集があった際、職員さんからのすすめもあり、説明会に参加しました。その後、面接や実習を経て採用となり、現在に至ります。

久保山駐車場には、さまざまな業務がありますが、私は①付近の通夜状況の確認、②駐車場入口・出口での接客業務を主に行っています。

ワークショップメンバーズにだけ通っていたときより環境が変わって、最初は疲れがたまったりしましたが、部屋で休養したり、街に外出したりして、疲れを回復できました。

他人と話すのが苦手で、接客に自信がなく心配でしたが、仕事をしてみてその心配が少なくなりました。苦手だと思ってもやってみれば案外できるものだと思います。就労するためには、なるべく自立心を持って生活することを心掛けやる気を持つことが大事だと思います。駐車場で長く働けるようになり、自信が持てるように頑張っていきたいと思います。

久保山事業所 従業員 H・S



トライ!  
実施報告

当会3回目のトライ!就労準備科10月開講のコースを実施、4名の方が受講されました。就労準備プログラムや、ビジネスマナーの確認、横浜SSJ事業所での実習のカリキュラムを全員が修了し、神奈川障害者職業能力開発校から修了証を手渡されました。「自分はこれだけできるんだ」「こうした仕事の適性があるんだ」など、本来ご自分が持たれていた力に気付いた方、改めて自信を持たれた方など様々な感想をいただきました。修了後は、もともと通われていた作業所やサービスを利用しながら、継続して就労に向けた準備をする方、実際に就職活動をされている方などさまざまです。しかし、就職を実現された方も、これからの方も、皆さん受講いただく前よりも、確実にステップアップされたと感じております。10月に開催された、「2008よこはま障害者合同面接会」では、前回(第2回)の修了生の方がチャレンジ、大変に高い倍率のなかで見事に就職を実現されました。横浜SSJで、トライ!就労準備科を開始して以来、合計12名の修了生のうち、現在4名の方が就職を実現されています。なお、年明け1月より『トライ!パソコン初級科』を2ヶ月コースで開講予定です。本コースでは、パソコンの基礎を講義形式で学んでいただくとともに、横浜SSJ事業所実習を行いながら、就労準備科同様、就労に向けたステップアップの場として多くの方に活用いただければと思っております。

横浜SSJ トライ!担当 星野 順平

横浜SSJ 第1回 シンポジウム アンケート結果

9月18日に大勢の障がい当事者、事業所従業員、関係機関のご参加をいただき「横浜SSJ 第1回シンポジウム かんばってるよ!就労の現場から」を開催しました。

様々な反響があり、48枚のアンケートが回収されましたので一部ご紹介します。

シンポジストの話について

大変良い 32 良い 13 普通 3  
良くない 0

- これから仕事を探すのにためになった
- それぞれの方の病気をもって努力して、前向きな姿、語る重要さを知りました。障がいということを忘れませんでした。
- お一人お一人の文章が飾らず心に響いてきました。体験して得たことは障がい者だけではなく人間として誰にも当てはまる事だと思えます。
- 个性的で多様だったのでよかったですと思えます。

シンポジウム内容全般について

大変良い 31 良い 14 普通 3  
良くない 0

- 失敗談について具体的に述べられており、今後後続く人々に大変参考になると思った。
- 働くことへの熱意や病気のこと(つらさ)責任感の強さ、体力をつけて、目標をもつ生き方が輝いていました。

全体の構成進行について

大変良い 26 良い 16 普通 6  
良くない 0

- 松為先生のテンポある進行でシンポジストの皆さんの発言がしやすかったのではないかと思います。
- 時間が少し長いのでは?
- 質問が聞いてみたいことばかりで良かった。

事業所紹介

# 公園管理業務

公園管理業務（常盤公園）従業員 斉藤 一史

公園の事業所の従業員として勤めはじめて3年目になります。

最初のきっかけとしては、通所している作業所、アートショップよこはまで1週間に1回常盤公園での受付業務や清掃をするということで、2名の募集をしていました。私はこれまで受付業務などやったことがなかったのですが新しいことをやってみたいと思いやってみることにしました。

最初は、ジョブコーチをつけての仕事でしたが、やはり初めてなので緊張しました。受付業務として公園にはスポーツの利用施設があり、テニス場2面、運動広場1面があります。9時から17時の間で2時間ずつの利用になります。8時30分に出勤し、受付の準備をして、お客様を待つという流れになります。お客様と接するのは初めてで、服装や挨拶などに気を遣い、領収書の書き方を間違えないかという不安もありましたが、マニュアルがあるのでなんとか切り抜けました。清掃は管理棟のトイレ、管理棟周辺の落葉などの掃き掃除、事務所内の清掃などがありますが、生活支援センターでの清掃の経験があったのでそんなに苦労なくできました。2～3ヶ月経過して、従業員の方が調子が悪くなり、市精連（現横浜SSJ）のほうから従業員としてやってみてはどうですか？と言われました。今まで1週間に1回だったのが従業員となると、1ヶ月に12回程度働くことになるので体力的にどうかな？という不安がありましたがお金などの問題もあり、やってみようと思い面接を受けて、晴れて従業員として採用されました。常盤公園では通常1人で仕事をします。瀬谷本郷公園では、午前1人午後1人で仕事をする日と、1人で1日仕事をする日とシフトをつくるようですが、常盤公園では1人で1日7.5時間仕事をするようになっていました。従業員は2人でその他にアートショップよこはま、ジョブアシスト横浜、

ワークショップメンバーズさんが実習として入ることもあります。

常盤公園は高台の階段や坂を登りきったところにあり、たどり着くまで最初は疲れしました。公園は、テニス場2面、運動広場1面、遊具広場、ゲートボール広場、弓道場、駐車場などがあります。大きな木が茂っており、特に管理棟近くにあるクスの木は大きくて夏はすごしやすいのですが、4～5月に葉が落ちて清掃が大変です。受付以外の仕事としては、電話の対応、公園への苦情があり、この苦情がいろいろ大変です。公園は住宅や老人ホームが隣接しており、運動広場の砂ぼこりがひどくて洗濯物が汚れるので水をまいてくださいとか、テニス場でテニスをやっている人の中に革靴でやっている人がいるなどいろいろな苦情があり、その対応もしています。苦情を受付たあとの対処は職員さんがしますので電話の対応だけで良いのですが…。

その他に困ったことといえばトイレのいたずらです。管理棟では和式トイレにトイレトーパーを丸ごと1個わざと詰めていたりシステムトイレの扉を壊したり、洗面台でトイレトーパーや紙などを燃やしたりと、トイレは



いろいろイタズラをされます。本当にいろいろされてしまうので困ります。

最後に職員さんとの付き合いという点で話していきたいと思いますが、公園では職員さんと補助職員さんがいます。補助職員さんは、いわばアルバイトさんで今まで職員さんをやっていた人もいます。1日に職員さん1人、補助職員さん1～2人で公園管理をしています。受付窓口と事務所は一緒なので一日中一緒にいます。最初の頃は緊張しあまり話はしなかったのですが、だんだん慣れていくにしたがって、事務的な話以外でも話すようになり今ではいろんな話をします。例えばプロ野球の話とか、趣味などの話とかして親切に接してください

ます。本当にここで従業員としてやってきてよかったと思っています。

公園管理の従業員としてやってみて、いろいろな人たちとの出会いがありました。職員さんや補助職員さん、緑の協会の事務課の方達、公園で散歩している人々、犬の散歩に来ている人々など、今まで出会ってない人たちとの会話などが出来、充実した毎日を送っています。

病気と仕事の両立というのは難しいと思います。具合が悪い時はSSJに早めに連絡すれば代わりに来てもらえるので、安心して仕事ができます。公園の仕事をやってみたいと思う人は、ここに書いたことを参考にしてチャレンジしてみてください。

## 研修 報告

新人研修は、市精連が開催している研修の一つです。

経験3年以内の横浜市内の、地域作業所、グループホーム、精神障害者社会復帰施設等の常勤、非常勤職員を対象としています。月一回ペースで、主に、グループディスカッションをメインの活動としています。それぞれ職場で感じる疑問、悩みなどをテーマに新人同士で話し合います。

私は今年4月から横浜SSJ北部事業所の非常勤職員として働いている障害当事者です。北部事業所には、5年弱メンバーとして所属していました。援助される側から援助する立場に移ったわけです。5年もいて新人というのもおかしな話ですが、職員としては新人なので甘えさせてもらっています。

職員になって、半年以上たちますが、メンバーと職員の間ぐらいのポジションにいる感じです。他の職員はもちろん、長く付き合ってきたメンバーとの繋がりも大切にしていきたいと思っています。その中でくる悩みなどを研修に出ることで、皆に適切な助言をいただいたりしてホッとすることもありました。

ここ最近のテーマは、「メンバーの自主性・主体性」、「私のキャラってどんなだろう?」「関わり検討会」などがありました。メンバーの主体性を引き出すには、どうしたらいいだろうという話から、日々の関わりの中で自分の立場とは、どんなだろうということを語り合いました。「関わり検討会」では、具体的な事例をもとに、先輩オブザーバーを交えて解決策を検討しました。

新人研修は、話を聞くと、最初は少人数だったようですが、現在は、10～15名以上集まるようになってきました。私より一回りも歳が下の新卒の人から、他の職種から福祉の世界に入ってきた歳上の人まで、みんな同じ立場で、活発な意見が交わされます。障害当事者は、私一人のようですが、みんな普通に接してくれます。日々、自分の職場の仕事に追われて、狭くなりがちな視野が他の職場の人達と話すことにより広がります。今では、私の月一回の楽しみとなりつつあります。これからも、精神保健福祉を志す人たちの、情報交換、交流の場として、この市精連の新人研修が続いていくことを願います。

横浜SSJ非常勤職員 堀 慎之

## TOPICS

### 最低賃金が上がりました

10月25日より神奈川県が最低賃金が736円から766円に上がりました。これは神奈川県が全国で生活保護費を下回る額が90円と一番悪かったという結果を受けてと聞いています。国もワーキングプア問題から、時給1,000円ぐらいまで引き上げるべきだという意見が出されているなど、そのこと自体は大変必要で、良いことと思います。しかしながら、一方賃金を上げても払えるだけの収益が無ければ、特に中小企業などは払えずに困るだけです。

横浜SSJも職員30名・従業員(援助付雇用の精神障がい者)70名を雇用する弱小企業ですので、もろに影響を受けています。「賃金が上がってよかったね」と素直に従業員さんと喜べない状況にあります。ここ2年間の最低賃金の引き上げのために年間約200万円の資金が必要になってきます。しかしながら、収入はどうかというと、当会の委託事業の委託費は上がりず、不況で売店喫茶の売り上げは下がっているという状態のため、200万円の資金を用意することができません。そこで働いていただく日数を制限するというお願いをせざるを得ません。



アメリカのサブプライムローンに発する世界的大不況がどうとう現実のものになりつつあります。商店は売り上げが大幅に減り、自動車工業界は季節工を何千人と再契約をしないという方法で失業に追い込んでいると言う報道に接する昨今です。こうした中、最低賃金を上げるのは良いのですが、増収の道も同時に施策として考えていただかないと、かえって働く場を狭めワーキングプアなどの社会問題を広げる結果になることは目に見えています。こんな自明の問題に施政者が何ら対策を講じてくれないのはあきれるばかりです。

横浜SSJ理事長 菊地綾子

### 2009箱根駅伝を応援しませんか？

横浜SSJ本部事務局のある保土ヶ谷区岩井町、保土ヶ谷駅東口商店街はお正月の恒例行事である箱根駅伝観戦にぴったりの立地にあります。

東口商店街とSSJは2005年市精連移転の時から商店街組合に参加し日頃から地域と関りあって、活動を共にしています。今年も一年を通して駅前通路清掃や自治会館草むしり作業、防犯キャンペーンなどに利用者・スタッフが参加をし、地域の皆さんにご理解をいただいています。



2009年1月2日往路、3日の復路ともSSJスタッフが、選手たちに皆さんと熱い応援をしたいと思います。

1月2日往路は9時30分頃、3日復路は、11時30頃選手たちが熱戦を繰り広げます。皆さん、お時間があるようでしたら是非お立ち寄り下さい。飲物と温かい軽食ご用意しています。

多機能型事業所 スタッフ一同